

第7次日吉津村総合計画 後期計画

(令和8年度～令和12年度)

みんなで創る

元気な村

住み続けたい

日吉津村



令和8年6月
鳥取県日吉津村

目 次

はじめに	1
政策体系	2
計画の内容	
政策1) 豊かな心をはぐくむ むらづくり	
施策1) 誰もが学び 誇れるむらづくり	
基本事業1) 人権尊重社会の実現	3
基本事業2) 生涯学習の推進	4
基本事業3) 文化・芸術の振興	5
施策2) 子どもが生き生き育つ むらづくり	
基本事業1) 子育て支援の充実	6
基本事業2) 学校教育の充実	7
政策2) 自然と調和する 住みよいむらづくり	
施策1) 暮らしやすい むらづくり	
基本事業1) 快適な生活環境の整備	8
基本事業2) 時代に即した快適で便利な環境整備	9
施策2) 安心安全な むらづくり	
基本事業1) 安心安全なむらづくりの推進	10
基本事業2) 環境にやさしい暮らしの推進	11
政策3) 健康とともに支え合う 活力あるむらづくり	
施策1) 元気に暮らす むらづくり	
基本事業1) 健康づくりの推進	12
基本事業2) ささえあいのむらづくりの推進	13
施策2) 活力ある むらづくり	
基本事業1) 持続可能な農業と商工の振興	14
基本事業2) 移住定住の促進	15
施策3) とともに築く むらづくり	
基本事業1) 協働のむらづくりの推進	16
基本事業2) 地域の魅力発信	17
資料編	
1 策定の前提	
(1) 村民アンケート結果からの考察(令和6年度実施)	19
(2) 個別計画	26
2 策定の経過	
(1) 策定経過	27
(2) 意見交換の実施	28
(3) 意見公募の実施	28

はじめに

令和8年6月

日吉津村長 中田 達彦



本村は、令和3年3月に第7次総合計画(令和3年度～令和12年度)を策定し、「みんなで創る元気な村 住み続けたい日吉津村」をめざす村の姿(将来像)として、令和3年度～令和7年度まで前期計画に基づき各種施策を推進してきました。

また、同時に「まち・ひと・しごと創生法(平成26年11月28日法律第136号)」第10条の規定に基づく第2期日吉津村地方創生総合戦略(令和3年度～令和7年度)を令和3年2月に策定し、人口減少・少子高齢の対策として、これまで推進してきた定住施策や子育て施策に加え、「関係人口」の創出・拡大などによる地域活性化にも取り組んできました。

村民一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化する中、誰もが互いに尊重され、安心・安全で快適な生活を確保し、活力や豊かさを実感しながら暮らしていくことが求められている昨今、そうした村づくりを実現するため、日吉津村の温かい人と人とのつながりや、顔の見える関係性を大切にしながら、村民一人ひとりの知恵と力を最大限に活かして取り組む、今後5年間の指針として、この度、第7次総合計画後期計画を策定しました。

本計画では、第7次総合計画の中核である基本構想はそのまま継承し、分野別のむらづくりの計画である基本計画のみを策定し、地方創生総合戦略の具体的な事業を内包することにより、第3次日吉津村地方創生総合戦略(令和8年度～令和12年度)と一体化させ、より総合的・効果的に施策を展開していきます。

「村民が村づくりの主役である」ことをあらためて認識し、これから先も、「誇れるむら・帰ってきたいむら・暮らしたくなるむら・暮らし続けたいむら」として着実な発展を遂げ、子どもから大人まで村民一人ひとりが自信と誇りを持って暮らせるむらであるよう、めざす村の姿(将来像)の実現に取り組みます。

結びに、本計画の策定にあたり、ご審議を賜りました日吉津村総合振興計画審議会並びに日吉津村地方創生推進会議の皆様をはじめ、村議会、各自治会、各種委員会、村民アンケート・パブリックコメントなどを通して貴重なご意見・ご提言をいただいた皆様に対し、心からお礼申し上げますとともに、今後の村づくりに対し皆様の格別のご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

政策体系

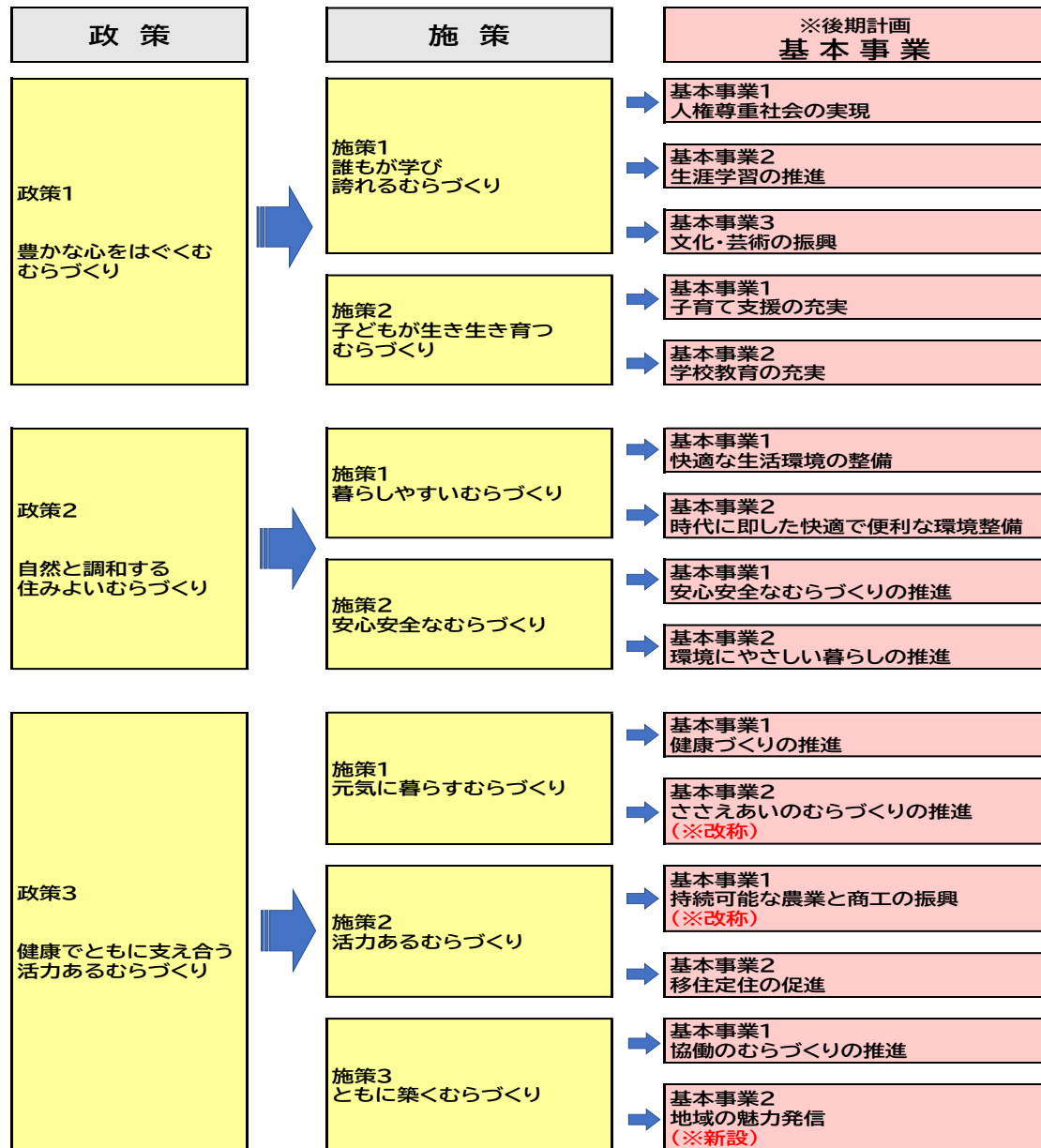
第7次日吉津村総合計画 第3期日吉津村地方創生総合戦略

基本構想

挑戦 協働 健康

めざすむらの姿(将来像) : みんなで創る元気な村 住み続けたい日吉津村

基本計画



政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策1)誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業1)人権尊重社会の実現

1 5年後のめざす姿

○村民一人ひとりがお互いを思いやる豊かな心を持ち、安心して暮らしています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・「人権尊重の村」宣言の精神
- ・「日吉津村民憲章」の精神
- ・お互いを思いやる気持ち、寛容さ
- ・顔がみえる安心できるつながり
- ・地域の中で日々交わされる挨拶

【改善したいこと】

- ・国籍や性別、年齢、障がい等の人権課題に対する理解
- ・時代に合わない慣習や性別による役割分担の理解

3 今後の方向性

- ① 地域の寛容性を高め、様々な違いを持つ人たちがお互いに認め合い、誰一人取り残されない自分らしく暮らせる社会づくりに取り組みます。
- ② 一人一人が自他の権利を正しく理解し、差別や不合理に気づき、考えて行動できるよう、啓発活動や研修実施に取り組みます。
- ③ 人権について相談できる体制の周知を行い、活用を促進します。
- ④ 第3次日吉津村男女共同参画計画に基づき、男女が「互いに尊重し ともに参画し いきいきと暮らせる村づくり」に取り組みます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
国籍や性別、年齢、障がいの有無に関係なく、だれもが平等に扱われていると感じている方の割合 (村民アンケート)	男30%、女20% (参考値)	男35%、女25%	男40%、女30%

政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策1)誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業2)生涯学習の推進

1 5年後のめざす姿

- 子どもたちが様々な体験をとおして、健やかに育っています。
- 一人ひとりが学習意欲を高めることで、輝き心豊かな人生を送っています。

2 前期基本計画での成果と問題

- | | |
|--|---|
| <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー土曜塾の活動 ・中・高生サークルの活動 ・様々な講座、イベントをとおした幅広い年代の人々の交流 | <p>【改善したいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年代を問わない多様な生涯学習活動の促進と環境整備 ・新規グループ活動支援と、既存グループ活動等に参加しやすい環境づくり |
|--|---|

3 今後の方向性

- ① 年代を問わない多様な生涯学習活動の促進を図るために、コミュニティセンターのグループ活動に繋がる講座や教室を開催するとともに、主体的に活動する団体やリーダーの育成に努めます。
- ② 地域住民とともに、中・高生サークルの活動を支援します。
- ③ GUTS 日吉津っ子(※)を育成します。
- ④ 村民が気軽にスポーツに親しみ、心身の健康を維持し、いきがづくりにつながるよう取り組みます。
- ⑤ 読書やふるさと教育など、多様な学びの活動を支援します。
- ⑥ 高齢者の生きがづくりのため、かがやき学級等の事業を推進します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
ヴィステひえづの利用者数	32,747人	32,850人	32,950人
村または実行委員会等が主催するスポーツに触れる機会(イベント含む)の数	13回	13回	13回

※用語説明

GUTS 日吉津っ子…G=がんばる子ども、U=ゆったりと育つ子ども、T=たかましい子ども

政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策1)誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業3)文化・芸術の振興

1 5年後のめざす姿

○だれもが歴史・文化・芸術に触れ、親しんでいます。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・日吉津村として蓄積した歴史・文化・芸術
- ・複合施設化に伴う日吉津村民俗資料館の整備
- ・日吉津村ふるさと読本「ひえづみらいノート！」の発行(令和8年1月)
- ・村指定文化財に加え、国登録有形文化財、県指定有形民俗文化財の指定

【改善したいこと】

- ・日吉津村の歴史・文化・芸術に関する学びや発表の場の創出
- ・村内の文化財の掘り起こし・価値付け

3 今後の方向性

- ① 地域の歴史や文化、芸術に触れ、学びを深める機会を創出するとともに、住民同士の交流を促進します。
- ② 民俗行事や村の歴史などについて聞き取り調査や映像記録を行い、継承します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
村又は実行委員会が主催する文化イベントの年間開催数	7回	7回	7回

政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策2)子どもが生き生き育つ むらづくり
基本事業1)子育て支援の充実

1 5年後のめざす姿

○子育て世帯が安心して出産や子育てができ、子どもが健やかに成長しています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・ミライトひえづの運営と体制の充実
- ・ネウボラの推進による切れ目のない子育て支援
- ・相談体制の充実

【改善したいこと】

- ・児童館入館児童数増への対応
- ・放課後の子どもの居場所づくり
- ・子育てにおける不安の解消

3 今後の方向性

- ① ミライトひえづ(ひえづこども園・児童館)の受入体制を整え、利用希望者全てを受け入れます。
- ② 新たな放課後の子どもの居場所づくりに取り組みます。
- ③ 子育てに関する相談体制の充実及び情報の発信を図り、子育てに関する制度の利用を促進することで子育ての不安の解消に努めます。
- ④ 特に支援が必要な状況においては、福祉部局とも連携し、必要に応じた支援に努めます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
出生による住民登録者数	24人	30人	35人
保育施設利用者数	165名	170名	175名
小学校児童数	236名	240名	245名

政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策2)子どもが生き生き育つ むらづくり
基本事業2)学校教育の充実

1 5年後のめざす姿

○子どもがなかまとともに学び続け、心身ともに健やかに育っています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・校庭の芝生化など温かい地域の方々とのかかわり
- ・コミュニティ・スクール(※)での熟議
- ・OKJ(※)を中心とした授業づくり
- ・児童及び教職員のICT活用

【改善したいこと】

- ・小学校・中学校・高校等の学校、家庭、地域の役割の再検討

3 今後の方向性

- ① 小学校・中学校・高校等の学校、家庭、地域が協働し、子どもたちを育てます。
- ② 第2期 GIGA スクール構想(※)に基づき、教育環境の充実・情報活用能力の育成を通して、これからの社会に対応する資質・能力の育成を図ります。
- ③ 少人数学級、学習支援員、ぷらっとルーム(※)、フリースクール補助など一人一人を大切にした教育を推進します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
学校運営協議会からの提案 (毎年1件)	1件	1件	1件

※用語説明

コミュニティ・スクール…学校運営協議会のある学校のこと。地域とともにある学校づくりを推進する。

OKJ…「教えて考えさせる授業」。基礎、基本の定着を目指した授業スタイルの1つ。

第2期 GIGA スクール構想…文部科学省の取組。児童生徒に1人1台タブレット端末と高速ネットワーク環境を整備し、個別最適化された学びと協働的な学びの実現を目指す。

ぷらっとルーム…児童の不登校に関する諸課題の解決及び未然防止のために設置した日吉津村教育支援センター(居場所)

政策2)自然と調和する 住みよいむらづくり
施策1)暮らしやすい むらづくり
基本事業1)快適な生活環境の整備

1 5年後のめざす姿

○インフラ施設(道路・下水道・公園)が適正に管理され、村民が安心・快適に暮らしています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・安心・安全に通行できる道路
- ・安心して利用できる下水道
- ・村民が利用しやすい公園
- ・海浜運動公園キャンプ場の改修(1期工事)

【改善したいこと】

- ・海浜運動公園の利用促進

3 今後の方向性

- ① 道路・橋梁及び下水道施設の長寿命化を図ります。
- ② 下水道事業の安定的な経営のため、料金の適正化を図ります。
- ③ 海浜運動公園の利用者を増やすため、指定管理者と協力しながらPR活動及び利用者の利便性の向上を図ります。
- ④ 子育て世代に限らず広く村民が利用しやすいものとなるよう、海浜運動公園の子育て交流拠点の整備(2期工事)を進めます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
長寿命化を図った橋梁数	1橋	3橋	5橋
下水道処理施設の老朽化率 ※老朽化率=経過年数÷経済的耐用年数×100(低い方がよい)	60%	50%	40%
海浜運動公園利用者数	14,000人	20,000人	28,000人

政策2)自然と調和する 住みよいむらづくり

施策1)暮らしやすい むらづくり

基本事業2)時代に即した快適で便利な環境整備

1 5年後のめざす姿

○村民がデジタル技術により、快適で便利に暮らしています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・各証明書のコンビニ交付
- ・住民のマイナンバーカード保有率

【改善したいこと】

- ・役場に行かないとできない申請
- ・来庁者の役場滞在時間
- ・デジタル化への対応が難しい方への配慮

3 今後の方向性

- ① デジタル技術を活用し、役場に行かなくてもできる手続きを増やします。
- ② デジタル技術を活用し、来庁者の役場滞在時間を短縮します。
- ③ マイナンバーカード保有率 100%を目指し、マイナンバーカードの利用による利便性の向上を図ります。
- ④ デジタル技術を使って行政サービス等を利用するための支援を行います。
- ⑤ デジタル技術を用いなくても快適に過ごせるような仕組みも継続します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
役場に行かなくてもできる 手続き数(種類)	10件	20件	30件
マイナンバーカードの保有 率	86.70%	95%	100%

政策2)自然と調和する 住みよいむらづくり
施策2)安心安全な むらづくり
基本事業1)安心安全なむらづくりの推進

1 5年後のめざす姿

○村民が災害・事故・犯罪から生命や財産を守ることができています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・自治会ごとの自主防災組織の設置
- ・関係機関及び地域をあげての子どもの見守り活動
- ・防災士の増加

【改善したいこと】

- ・消防団の新規入団者数
- ・消防技能の承継
- ・歩行者や自転車、自動車利用者の交通安全意識
- ・個人の防犯意識

3 今後の方向性

- ① 自主防災組織や防災士、消防団が連携し、地域防災力をさらに高めます。
- ② 消防団の新規入団者を増やし、技術の承継を進めます。
- ③ だれもが交通安全意識を高めるための啓発に取り組むとともに、子どもや高齢者などが事故に遭わないよう、関係機関との連携を進めます。
- ④ だれもが犯罪に巻き込まれない安全安心な環境をつくるため、自治会をはじめ関係機関・団体と連携し取り組みます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
防災訓練の参加人数	400人	450人	500人
交通事故件数 (人身事故の発生件数)	6件 (R6実績)	0件	0件

※鳥取県警察交通事故統計より

政策2)自然と調和する 住みよいむらづくり
施策2)安心安全な むらづくり
基本事業2)環境にやさしい暮らしの推進

1 5年後のめざす姿

○村民や企業が環境への負担の軽減に取り組み、安心して住みやすい持続可能な村となっています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・ごみの減量
- ・リサイクルの推進
- ・環境美化活動の取組
- ・CO2 削減の取組

【改善したいこと】

- ・きれいな環境を維持する意識の向上
(不法投棄やポイ捨て禁止、ペットの糞の始末など)

3 今後の方向性

- ① 村民の健康の保護及び快適な生活環境を確保します。
- ② 人と自然とのふれあいの確保及び生態系に配慮した自然環境を保全します。
- ③ 地域の特性を活かした景観の形成その他自然、文化、産業等の調和の取れた快適な環境を創造します。
- ④ 資源の循環的利用、エネルギーの有効利用及び廃棄物の減量を推進します。
- ⑤ 「日吉津村ごみのポイ捨て等禁止条例」の継続的な啓発を行い、村内の環境保全に役立つ取組を行います。

4 成果目標指標【KPI】

		現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
1人当たりの1日のごみの排出量 (資源ごみを除く)	家庭	436g/日 (R6実績)	426g/日	417g/日
	事業所	397g/日 (R6実績)	397g/日	397g/日
ごみのリサイクル率	家庭	18% (R6実績)	19%	20%
	事業所	72.2% (R6実績)	72.2%	72.2%

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策1)元気に暮らす むらづくり
基本事業1)健康づくりの推進

1 5年後のめざす姿

○住民一人ひとりが主体的に健康づくりへの取組を行うことで、健康寿命が伸びています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・保健・医療情報の分析に基づいた保健事業の実施
- ・健康づくりの会、ひえづ食をつなぐ会（旧食生活改善推進員会）と連携した健康づくり・食育の取組

【改善したいこと】

- ・村民の健康意識の向上
- ・保健・介護・医療・福祉に関わる団体や機関の連携

3 今後の方向性

- ① 生活習慣改善、生活習慣病の早期発見のために、健診の受診をさらに勧めます。
- ② 健康に関する知識の啓発や動機付けを行い、子どもから高齢者まで、誰もが主体的に健康づくりに取り組める環境を整えます。
- ③ 村内の保健、介護、医療、福祉の連携を密にし、包括的な支援体制の充実を図ります。
- ④ 新たな感染症の発症に対し、迅速に対応できる体制を整備します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
特定健診受診率	51% (R6)	58%	60%
健康寿命と平均寿命の差	男1.53歳 女3.26歳 (R4年度)	男1.52歳 女3.25歳	男1.51歳 女3.24歳
要介護2以上の要介護認定率	9.5% (R6)	9.5%	9.5%

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり

施策1)元気に暮らす むらづくり

基本事業2)ささえあいのむらづくりの推進(※改称)

1 5年後のめざす姿

○地域のだれもがささえあい、安心して暮らしています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

・関係機関(医療機関、福祉事務所、地域包括支援センター等)と連携した相談支援やサービス調整

【改善したいこと】

・分野・属性問わず包括的に相談(一次相談)を受け止め、必要な支援等につなげる

3 今後の方向性

- ① 地域のだれもが自ら望む暮らしを継続できるよう、関係機関と連携して生活支援を行います。
- ② ささえあいサポート拠点施設を中心とした、居場所づくりや「ボランティア活動の拠点」、「地域の課題を話し合える場」等の充実を図り、地域づくりのネットワークの機能強化を図ります。
- ③ 福祉分野の相談窓口を一本化するなど機能集約化を図り、包括的な支援体制の整備を推進します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
福祉施策の満足度 (村民アンケート)	1.73点	-	2点以上
ささえあいサポート拠点 施設での活動グループ数	-	年間30組	年間45組

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
 施策2)活力ある むらづくり
 基本事業1)持続可能な農業と商工の振興(※改称)

1 5年後のめざす姿

- 農業者が生産力を維持するとともに、農作物の価値を高め、安定した収入を得ています。
- 地元の中小企業・小規模事業者が安定した経営を継続できています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・農地の集約化
- ・農作業お助け隊
- ・中小企業、新規創業の支援
- ・子どもたちの農業体験
- ・ひえづマルシェでの村内特産品のPR

【改善したいこと】

- ・畑地の荒廃化の防止
- ・特産品開発とブランド化

3 今後の方向性

- ① 担い手が安心して農業に従事できるよう、農業インフラの長寿命化を図るとともに、生産性の向上により経営の安定強化につなげます。
- ② 農作物及び加工品をブランド化し、販路開拓を行い、生産者の安定した収入の確保を促進します。
- ③ 担い手以外の中小・家族経営、兼業農家等の多様な経営体についても、地域農業を担う者として、育成・確保を進めます。
- ④ 農地利用の最適化に向け、県、関係機関と連携を図りながら、荒廃農地の解消・発生防止に努めます。
- ⑤ 関係機関と連携し、中小企業・小規模事業者の経営状況やニーズの把握に努めるとともに、経営の安定及び経営力の向上、円滑な事業継承や新規創業を支援します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
担い手農業者への農地の利用集積・集約化	47.16ha	56ha	65ha
認定農業者数(農業経営改善計画の認定数(広域認定を含む))	6人	6人	7人
20年以上経営している村内中小企業数	43社 (R7.12.31時点)	43社 (R10.12.31時点)	43社 (R12.12.31時点)

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策2)活力ある むらづくり
基本事業2)移住定住の促進

1 5年後のめざす姿

○若者が日吉津村を移住や定住先として魅力を感じています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・人口の増加
- ・子育て環境の充実
- ・新築住宅の増加
- ・様々な商業施設の開発による賑わいのある地域

【改善したいこと】

- ・都市部への魅力発信
- ・働く場が不足しているという認識
- ・未活用の建築可能な土地の活用促進
- ・20代に絞った移住定住施策
- ・空家対策

3 今後の方向性

- ① 村外県外で暮らす本村出身の学生や社会人がつながりを深め、Uターンを促進します。
- ② 空家、未活用の建築可能な土地、住宅の取得を促進し、転入者の増加を図ります。
- ③ 20代を主なターゲットにした移住定住対策に取り組みます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
人口の社会動態 (転入と転出による人口の増減) ※年平均3人増	-19人 (R7.12.31時点)	+12人 (R8.1.1~R10.12.31)	+15人 (R8.1.1~R12.12.31)
Uターン者数	21人 (R7.1.1~R7.12.31)	80人 (R7.1.1~R10.12.31)	120人 (R7.1.1~R12.12.31)
20代の人口 ※毎年、転入者-転出者を算出し、 基準の291人に合算	291人 (R7.12.31時点)	320人 (R10.12.31時点)	340人 (R12.12.31時点)
日吉津村地元人材育成奨学 金制度利用者数	5人 (R7実績)	5人	5人

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策3)ともに築く むらづくり
基本事業1)協働のむらづくりの推進

1 5年後のめざす姿

○地域の特性や人の繋がりを活かし、村民が主体的に参画と協働のむらづくりを行っています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・自治基本条例を基にした村民が主役の協働のむらづくり
- ・コミュニティ団体などによる村民主体の地域づくり

【改善したいこと】

- ・自治会役員のなり手不足
- ・若者の参画機会
- ・団体・地域活動の担い手不足

3 今後の方向性

- ① 誰でも参画しやすい自治会環境づくりを促進します。
- ② 協働のむらづくりで、若者の参画を促進します。
- ③ 自治基本条例をさらに普及啓発し、参画と協働のむらづくりを推進します。
- ④ ボランティア活動や団体等の情報の発信を行います。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
地域活動に参加している方の割合(村民アンケート)	-	60%	70%

※用語説明

コミュニティ団体…共通の地域、目的、趣味を持つ人々が集まり、相互のコミュニケーションや助け合いを通じて、住みよい地域づくりや課題解決を行う組織のこと。

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策3)ともに築く むらづくり
基本事業2)地域の魅力発信(※新規)

1 5年後のめざす姿

○住民が日吉津村に誇りと愛着を持つとともに、村外の方が日吉津村に魅力を感じむらづくりに関わっています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・日吉津村独自の価値や魅力の発見
- ・ふるさと納税新規返礼品の増加
- ・観光分野の機運醸成

【改善したいこと】

- ・日吉津村の魅力の発信
- ・観光分野の体制の構築
- ・子育ての魅力発信

3 今後の方向性

- ① 観光資源を磨き上げ、魅力を効果的に発信するとともに、観光推進体制を構築し観光を振興します。
- ② 住民が地域資源の魅力さをさらに感じる機会を増やします。
- ③ ひえづ村民の日条例を制定し、趣旨にふさわしい取組を行います。
- ④ 日吉津村の魅力発信やふるさと納税をとおし、日吉津村のファンを増やします。
- ⑤ 日吉津村の魅力ある子育て支援に関する情報の発信に取り組めます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
観光入込客数 (村内施設 ※海浜運動公園、ひえづマルシェ)	14,000人	30,000人	38,000人
ふるさと納税のリピーター数 ※複数回寄附者数(年間5人増)	88人 (R7.1.1~R7.12.31)	105人 (R7.1.1~R11.3.31)	115人 (R7.1.1~R13.3.31)
村公式LINEのフォロワー数	783人 (R8年3月末)	950人 (R11年3月末時点)	1050人 (R13年3月末時点)

資料編

1 策定の前提

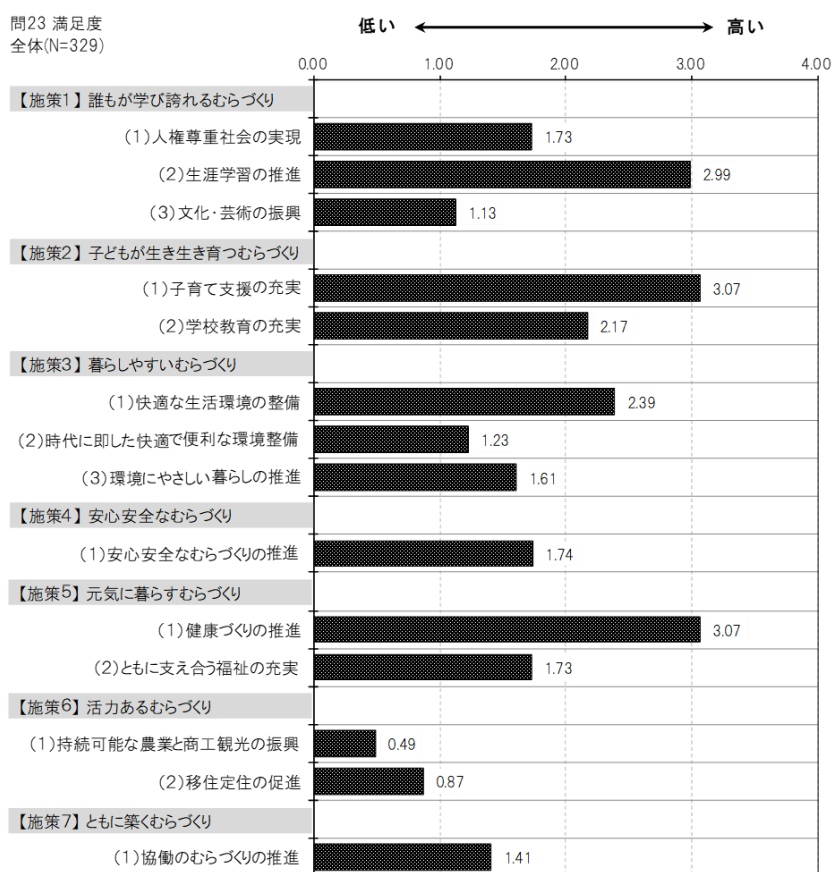
(1) 村民アンケート結果からの考察(令和6年度実施)

① むらづくりアンケート(18歳以上の村民(住民基本台帳による無作為抽出))

ア 村民の村づくり施策への満足度意識

むらづくりアンケートにおいて、村民満足度が最も高い施策は「施策2(1)子育て支援の充実」「施策5(1)健康づくりの推進」(各 3.07)で、以下「施策1(2)生涯学習の推進」(2.99)、「施策3(1)快適な生活環境の整備」(2.39)、「施策2(2)学校教育の充実」(2.17)の順となっています。

一方、相対的に満足度評価が低い施策としては、下位から順に「施策6(1)持続可能な農業と商工観光の振興」(0.49)、「施策6(2)移住定住の促進」(0.87)、「施策1(3)文化・芸術の振興」(1.13)、「施策3(2)時代に即した快適で便利な環境整備」(1.23)、「施策7(1)協働のむらづくりの推進」(1.41)などがあげられます。



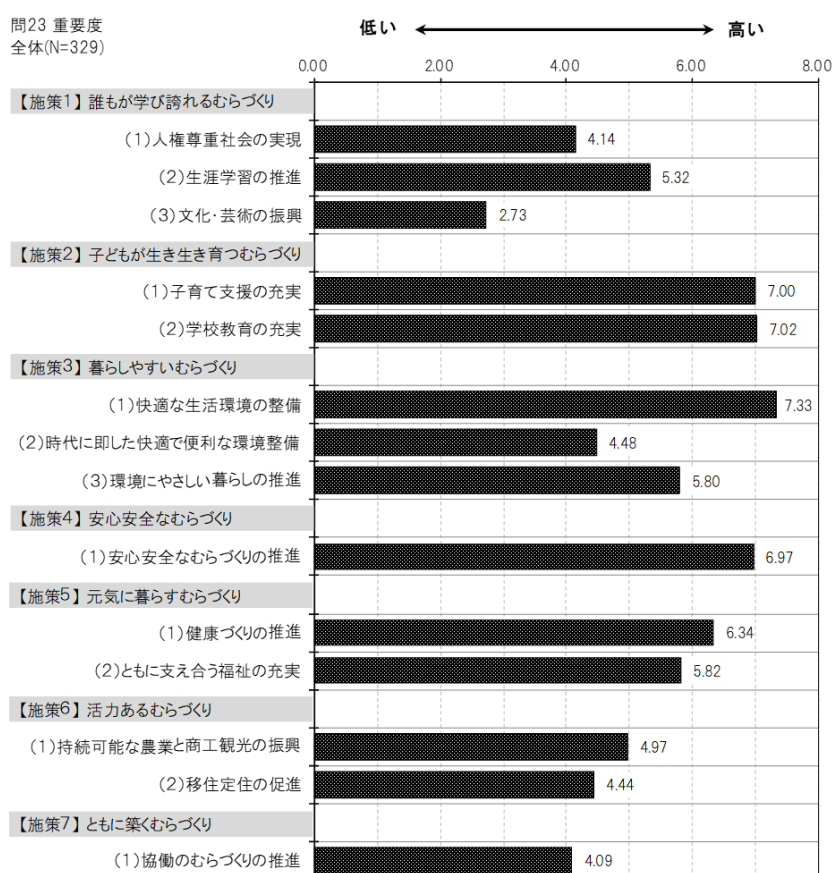
(満足度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化しています。)

- 「満足度」については「満足」「ある程度満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「どちらともいえない」という選択肢もあります。そのため、この「満足度」をより的確に分析するために、平均評定値による指標化を行いました。
- 平均評定値は、「満足」に+10点、「ある程度満足」に+5点、「やや不満」に-5点、「不満」に-10点、「どちらともいえない」に0点の係数(ウェイト)を設定し、【(「満足」の回答件数)×10(点)+(「ある程度満足」の回答件数)×5(点)+(「やや不満」の回答件数)×-5(点)+(「不満」の回答件数)×-10(点)+(「どちらともいえない」の回答件数)×0(点)]÷【回答者件数-無回答件数】の計算によって算出し、指標としています。
- この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができます。

イ 村民の村づくり施策への重要度意識

施策の重要度が最も高い施策は「施策3(1)快適な生活環境の整備」(7.33)で、以下「施策2(2)学校教育の充実」(7.02)、「施策2(1)子育て支援の充実」(7.00)、「施策4(1)安心安全なむらづくりの推進」(6.97)、「施策5(1)健康づくりの推進」(6.34)の順となっています。

一方、相対的に重要度評価が低い施策としては、下位から順に「施策1(3)文化・芸術の振興」(2.73)、「施策7(1)協働のむらづくりの推進」(4.09)、「施策1(1)人権尊重社会の実現」(4.14)、「施策6(2)移住定住の促進」(4.44)、「施策3(2)時代に即した快適で便利な環境整備」(4.48)などがあげられます。



(重要度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化しています。)

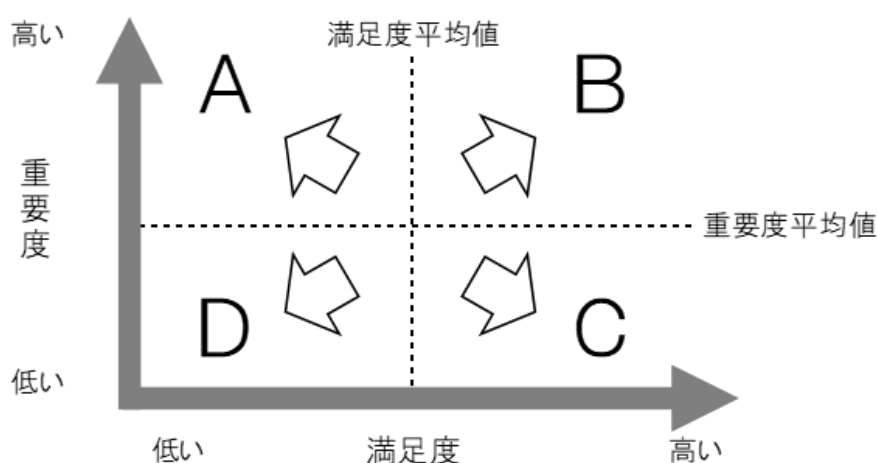
- 「重要度」については「重要」「やや重要」への回答とともに、「あまり重要ではない」「重要ではない」「どちらともいえない」という選択肢もあります。そのため、この「重要度」をより的確に分析するために、平均評定値による指標化を行いました。
- 平均評定値は、「重要」に+10点、「やや重要」に+5点、「あまり重要ではない」に-5点、「重要ではない」に-10点、「どちらともいえない」に0点の係数(ウェイト)を設定し、【(「重要」の回答件数)×10(点)+(「やや重要」の回答件数)×5(点)+(「あまり重要ではない」の回答件数)×-5(点)+(「重要ではない」の回答件数)×-10(点)+(「どちらともいえない」の回答件数)×0(点)]÷【回答者件数-無回答件数】の計算によって算出し、指標としています。
- この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができます。

ウ むらづくりアンケートの分析結果

○各施策の満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度の割合をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、14 の施策を散布図上に示したものが相関図です。

満足度と重要度の各平均値を基準としてA～Dの4つの領域に区分し、各施策がどの領域に配置されるのかを整理しています。



A 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

B 重要度、満足度ともに高い(現状維持領域)

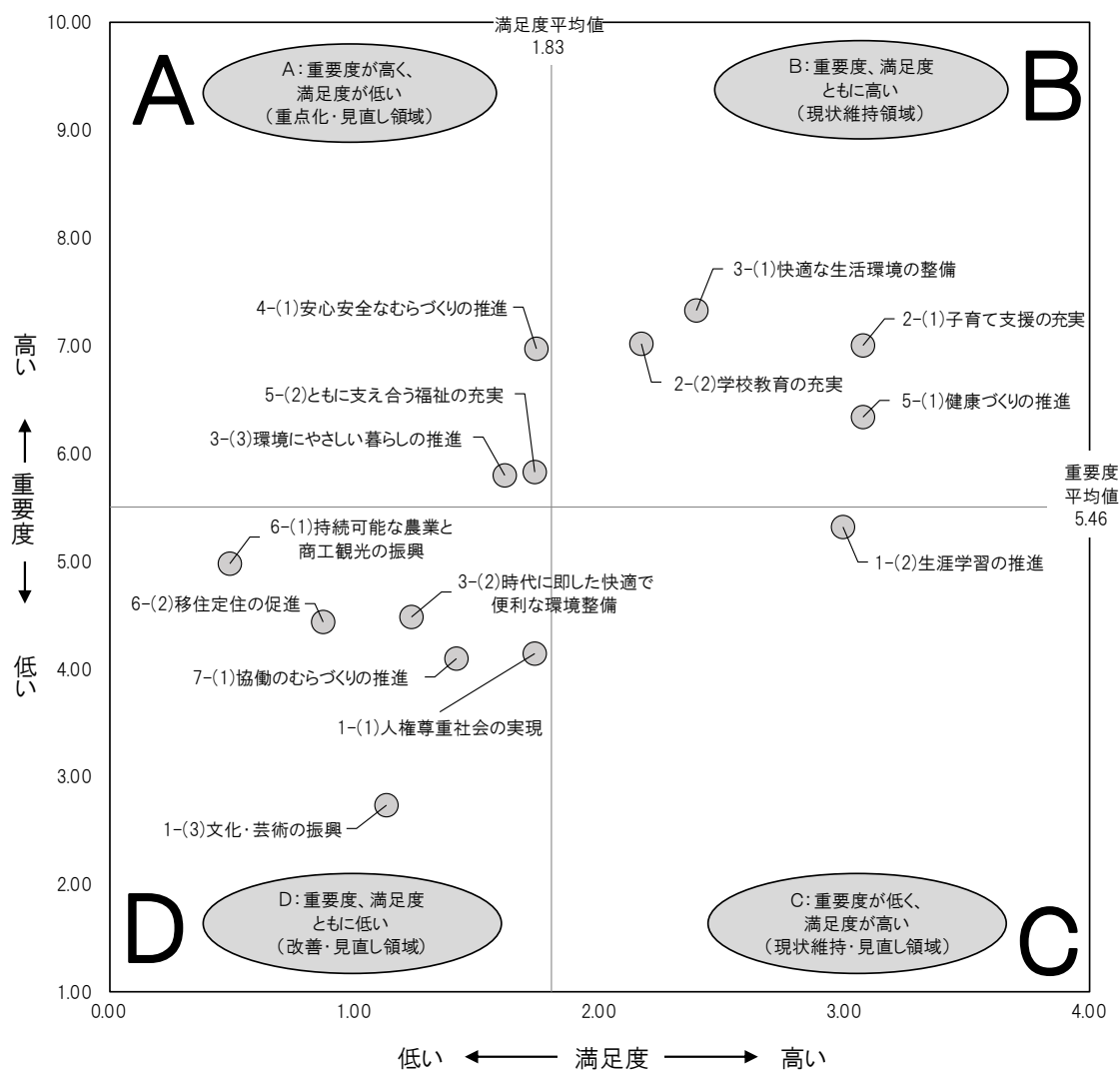
重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C 重要度が低く、満足度が高い(現状維持・見直し領域)

重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

D 重要度、満足度ともに低い(改善・見直し領域)

重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。



【施策1】誰もが学び誇れるむらづくり	領域
(1)人権尊重社会の実現	D
(2)生涯学習の推進	C
(3)文化・芸術の振興	D
【施策2】子どもが生き生き育つむらづくり	領域
(1)子育て支援の充実	B
(2)学校教育の充実	B
【施策3】暮らしやすいむらづくり	領域
(1)快適な生活環境の整備	B
(2)時代に即した快適で便利な環境整備	D
(3)環境にやさしい暮らしの推進	A

【施策4】安心安全なむらづくり	領域
(1)安心安全なむらづくりの推進	A
【施策5】元気に暮らすむらづくり	領域
(1)健康づくりの推進	B
(2)ともに支え合う福祉の充実	A
【施策6】活力あるむらづくり	領域
(1)持続可能な農業と商工観光の振興	D
(2)移住定住の促進	D
【施策7】ともに築くむらづくり	領域
(1)協働のむらづくりの推進	D

【A 重点化・見直し領域】

A 重点化・見直し領域に含まれる施策は次のとおりです。

	満足度	重要度
【施策4】(1)安心安全なむらづくりの推進	1.74	6.97
【施策5】(2)ともに支え合う福祉の充実	1.73	5.82
【施策3】(3)環境にやさしい暮らしの推進	1.61	5.80

注:表は重要度が高い順に並べ替えている。(以下同様)

【B 現状維持領域】

B 現状維持領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【施策3】(1)快適な生活環境の整備	2.39	7.33
【施策2】(2)学校教育の充実	2.17	7.02
【施策2】(1)子育て支援の充実	3.07	7.00
【施策5】(1)健康づくりの推進	3.07	6.34

【C 現状維持・見直し領域】

C 現状維持・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【施策1】(2)生涯学習の推進	2.99	5.32

【D 改善・見直し領域】

D 改善・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【施策6】(1)持続可能な農業と商工観光の振興	0.49	4.97
【施策3】(2)時代に即した快適で便利な環境整備	1.23	4.48
【施策6】(2)移住定住の促進	0.87	4.44
【施策1】(1)人権尊重社会の実現	1.73	4.14
【施策7】(1)協働のむらづくりの推進	1.41	4.09
【施策1】(3)文化・芸術の振興	1.13	2.73

むらづくりアンケートの結果から、村民ニーズとして改善に取り組む必要があると考えられた項目は以上のようなことでした。

② むらづくりに関する中学生・高校生アンケートの結果

中学生・高校生アンケートにおいて、日吉津村への愛着度については、「とても好き」が63.6%、「どちらかといえば好き」が27.3%、合計で90.9%が『好き』と回答しています。

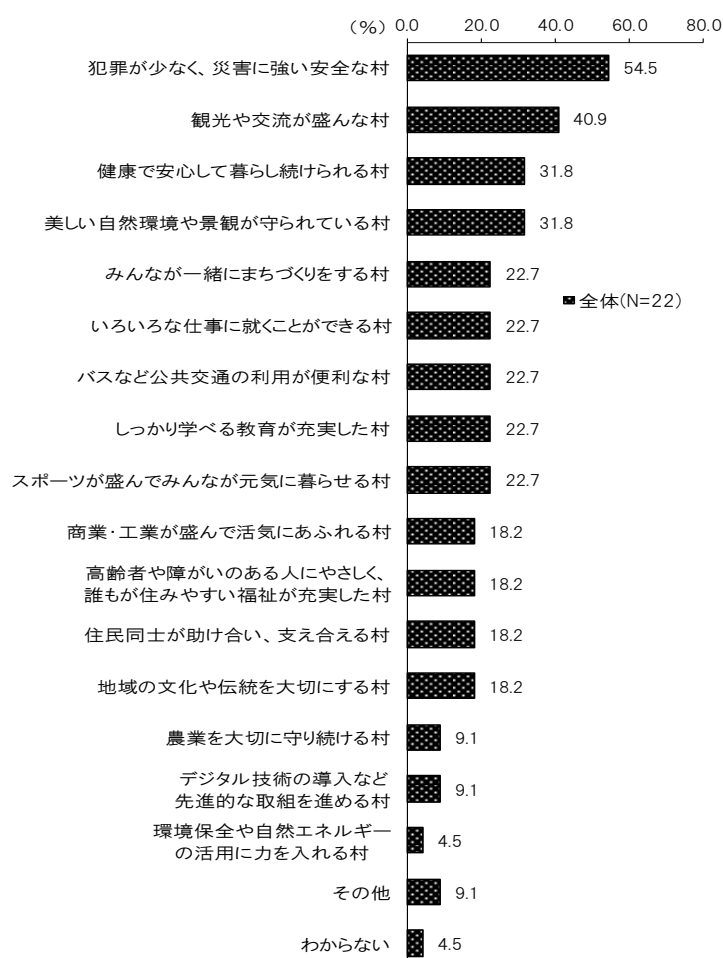
永住意向については、「住み続けたい」が27.3%、「どちらかといえば住み続けたい」が45.5%、合計で72.8%が『住み続けたい』と回答しています。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」は27.3%となっています。

住み続けたい理由については、「生まれ育った場所だから」の割合が56.3%と最も高く、次いで「家族がいるから」(43.8%)、「自然災害が少ないから」(37.5%)、「親しい友人などがいるから」(31.3%)の順となっています。

住み続けたくない理由については、回答者6名のうち「都会的ではないから」「村外で就職を希望するから」が各3名、「遊べる場所がないから」「村外で進学を希望するから」が各2名となっています。

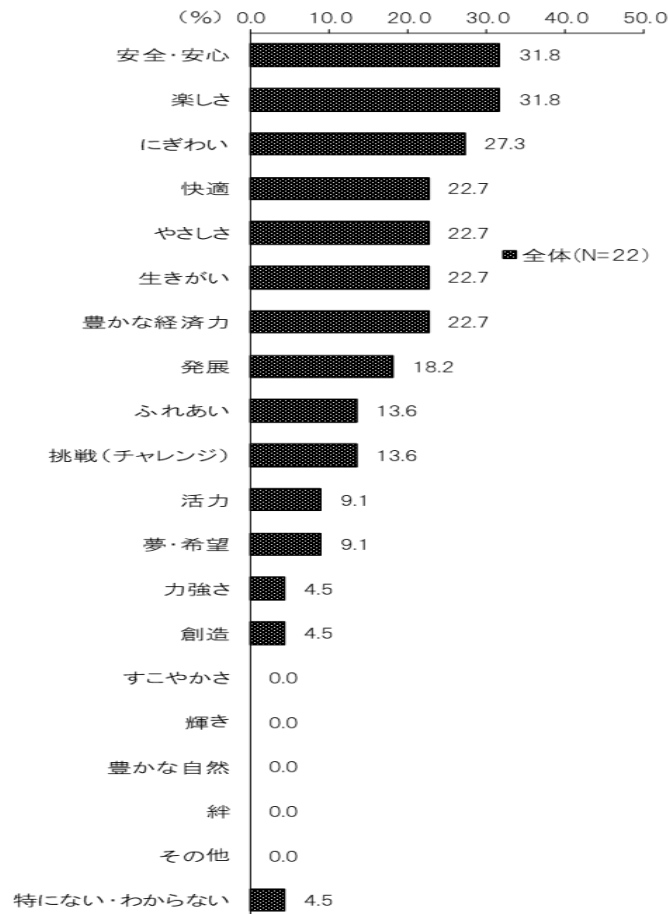
日吉津村の将来像

日吉津村の将来像については、「犯罪が少なく、災害に強い安全な村」の割合が54.5%と最も高く、次いで「観光や交流が盛んな村」(40.9%)、「健康で安心して暮らし続けられる村」「美しい自然環境や景観が守られている村」(各31.8%)の順となりました。



むらづくりを進めていく上でのキーワード

重視すべきキーワードについては、「安全・安心」「楽しさ」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「にぎわい」(27.3%)、「快適」「やさしさ」「生きがい」「豊かな経済力」(各 22.7%)の順となりました。



(2) 個別計画

○日吉津村第7次総合計画後期計画策定時点(令和8年4月1日時点)の各政策分野の代表的個別計画

施策	基本事業	計画名称
誰もが学び誇れるむらづくり	人権尊重社会の実現	・日吉津村における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす総合計画 ・日吉津村男女共同参画計画
	生涯学習の推進	・日吉津村教育大綱
	文化・芸術の振興	
子どもが生き生き育つむらづくり	子育て支援の充実	・日吉津村子ども・子育て支援事業計画 ・日吉津村教育大綱
	学校教育の充実	
暮らしやすいむらづくり	快適な生活環境の整備	・鳥取県西部地域公共交通網形成計画 ・日吉津村除雪計画 ・日吉津村道路橋梁長寿命化修繕計画 ・日吉津村舗装長寿命化計画 ・日吉津村公営住宅長寿命化計画
	時代に即した快適で便利な環境整備	・ICT日吉津村官民データ活用推進計画
安心安全なむらづくり	安心安全なむらづくりの推進	・日吉津村地域防災計画 ・鳥取県西部町村国土強靱化地域計画 ・日吉津村公共施設等総合管理計画
	環境にやさしい暮らしの推進	・日吉津村環境基本計画 ・日吉津村一般廃棄物処理計画
元気に暮らすむらづくり	健康づくりの推進	・日吉津村国民健康保険保健事業計画 ・日吉津村地域福祉計画
	ささえあいのむらづくり	・日吉津村高齢者健康福祉計画 ・日吉津村障がい者福祉計画
活力あるむらづくり	持続可能な農業と商工の振興	・日吉津村農業振興地域整備計画 ・農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
	移住定住の促進	・日吉津村地方創生総合戦略
ともに築くむらづくり	協働のむらづくりの推進	・日吉津村行財政改革大綱 ・日吉津村公共施設等総合管理計画
	地域の魅力発信	・日吉津村地方創生総合戦略 (第3次から総合計画の基本計画と一体化)

2 策定の経過

(1) 策定経過

日付	内容
令和7年2月初旬～ 2月25日	・日吉津村第7次総合計画及び総合戦略策定支援基礎調査 むらづくりのための村民アンケート(計850名:18歳以上の 村民無作為抽出による(うち、50名は中高生対象))
令和7年6月9日	・令和7年度第1回日吉津村総合計画推進本部会議 (対象:村長、副村長、教育長、課長級職員)
令和7年6月24日	・若手職員ワーキング会議 (成果、問題、めざす姿について協議)
令和7年7月16日	・令和7年度第1回日吉津村総合振興計画審議会 日吉津村総合計画基本事業の振り返りについて むらづくりのための村民アンケートについて
令和7年8月18日	・令和7年度第1回日吉津村地方創生推進本部会議 日吉津村地方創生総合戦略評価検証について
令和7年8月28日	・むらづくりのための村民アンケートの実施内容・自由記載欄の 回答をホームページに公表
令和7年8月29日	・令和7年度第1回日吉津村地方創生推進会議 日吉津村地方創生総合戦略評価検証について 村・企業・地域の連携について(グループワーク)
令和7年9月16日、 令和7年9月18日	・後期計画策定に向けた各課ワーキング会議 事前に基本事業別記入シートを担当者が作成 シートを基に課ごとに職員同士で協議
令和7年11月16日	・村民参画ワークショップ『10年後の日吉津村』 村民球技大会ソフトバレーボール会場に参加する各自治会の 選手や家族などの村民に『10年後の日吉津村』【こうなって いたらいいな】と【心配なこと】を伺うワークショップ
令和8年4月19日、 22日、27日	・(仮)ふらっとdeいいんかい
令和8年4月20日～ 5月12日	・パブリックコメントの募集
令和8年5月18日	・令和8年度第1回日吉津村総合計画推進本部会議 (対象:村長、副村長、教育長、課長級職員)
令和8年5月21日	・令和8年度第1回日吉津村総合振興計画審議会(諮問)
令和8年5月26日	・日吉津村総合振興計画審議会答申
令和8年5月26日	・令和8年度第1回日吉津村地方創生推進会議

(2) 意見交換の実施

どなたでも気軽に参加いただける交流の場「(仮)ふらっと de いいんかい」で、テーマごとにグループでの意見交換を行った。(計3回実施、延べ35名参加)



(3) 意見公募の実施

- ・募集件名 第7次日吉津村総合計画後期計画(素案)に対する意見募集の実施について
- ・募集期間 令和8年4月20日(月)～5月12日(火)
- ・周知方法 ホームページ、防災無線による周知、113チャンネル文字放送に募集掲載
- ・受付方法 持参、郵送、電子メール、ファクシミリ
- ・意見提出者数 2名(提出方法:持参)
- ・意見件数 4件



ありがとうございました